

資金運用の取組及び実績について

1 趣旨

水道企業団では、保有資金の運用益の最大化を目指し、本部会計課において全 16 事業会計の資金運用を一体的に行い、運用益の拡大に努めているところであり、これまでの資金運用の取組及び実績について報告する。

2 資金運用の取組

(1) 資金運用の概略

期間が 1 か月から 1 年の定期預金による運用を毎月 1 回程度実施する。

(2) 16 事業会計別の運用額等の精査

毎月 16 事業会計別に資金計画を作成し、運用額及び運用期間が最適となるよう精査することで、年間を通じて効率的に資金を運用している。

これにより、水道企業団設立前に資金運用を行っていなかった事業会計は、新たに収入源を得ることとなった。

(3) 金融機関のニーズに応じた応札環境の整備

ア 16 事業会計別の運用資金を一本化

金融機関の期待する運用額を実現するため、16 事業会計別の運用資金を一本化し、預入期間単位の運用額を最大化した。

イ 預金証書の枚数削減

受領する預金証書の枚数を削減し、金融機関の事務負担の軽減を図った。

【事例】令和 6 年 1 月（運用期間 85 日）10 枚（10 事業会計別に受領）

→ 令和 6 年 12 月（運用期間 89 日）1 枚（10 事業会計を一本化し受領）

ウ 資金運用スケジュールの事前周知

毎月の募集・応札・預入スケジュールを開示し、金融機関が応札に向けた準備期間を確保できるようにした。

(4) 決済用普通預金（無利息）から有利息普通預金への切替え

令和 6 年度から、金融機関の安全性を確認した上で、普通預金を預金保険制度が適用される決済用（無利息）から有利息に変更し、新たな運用益を確保した。

3 資金運用の実績

	令和 5 年度※	令和 6 年度	令和 7 年度(4～9 月)
預金利息(16 事業会計)	344 千円	73,307 千円	109,609 千円
運用利回り	0.002%	0.180%	0.569%

※令和 5 年度については、9/5 から運用を開始したため、9/5 から 3/31 までの実績を記載

※事業会計別の実績については別紙のとおり

事業会計別実績（預金利息）

（千円）

区分	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度(4～9 月)
総計	344	73,307	109,609
竹原市水道事業	8	2,118	3,421
三原市水道事業	2	1,490	3,200
府中市水道事業	4	1,554	2,337
三次市水道事業	7	2,200	4,849
庄原市水道事業	6	1,806	2,935
東広島市水道事業	5	2,938	6,000
廿日市市水道事業	13	3,883	7,410
安芸高田市水道事業	1	834	1,710
江田島市水道事業	11	2,993	5,491
熊野町水道事業	12	2,582	4,588
北広島町水道事業	3	178	138
大崎上島町水道事業	1	201	335
世羅町水道事業	12	2,530	4,157
神石高原町水道事業	0	102	228
水道用水供給事業	246	41,203	51,260
工業用水道事業	13	6,695	11,550

※令和 5 年度については、9/5 から運用を開始したため、9/5 から 3/31 までの実績を記載